

2025年5月26日

各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 執行役員 CFO 小笠原 靖行

EXE-i シリーズの進化 – 顧客本位の運用体制
 信託報酬引下げと長期運用実績が示すアクティブ運用の新基準

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社(以下「SBIアセット」)は、同社が設定・運用する「EXE-i 先進国株式ファンド」、「EXE-i 新興国株式ファンド」、「EXE-i 全世界中小型株式ファンド」、「EXE-i 全世界REITファンド」および「EXE-i グローバルサウス株式ファンド」(以下総称して「EXE-i シリーズ」)の各ファンドにつきまして、プロダクトガバナンスの観点からの継続的な商品性の見直しに基づき、2025年7月16日および8月13日付の約款変更により、信託報酬を以下の通り引き下げることを決定しましたのでお知らせいたします。

＝信託報酬率の引下げと同種ファンドの信託報酬平均＝

	本ファンド (変更前)	本ファンド (変更後)	同種ファンドの信託報酬率 [※] (本数)		
			全ファンド平均	アクティブファンド平均	
EXE-i先進国株式ファンド	0.2970%	0.2860%	1.2413% (136)	1.6827% (87)	対象カテゴリ内の アクティブファンドで最安
EXE-i新興国株式ファンド	0.1761%	0.1651%	1.5319% (124)	1.8403% (96)	
EXE-i全世界中小型株式ファンド	0.2560%	0.2450%	1.4652% (325)	1.6358% (280)	全カテゴリファンドで最安
EXE-i全世界REITファンド	0.2145%	0.2035%	1.5903% (38)	1.6267% (36)	
EXE-iグローバルサウス株式ファンド	0.5820%	0.5710%	1.5319% (124)	1.8403% (96)	

※実質的な信託報酬率(税込)、ウエルスアッドバイザー株式会社調べ(2025年4月末現在)
 業界平均算出に本ファンドは新料率を使用

注) 新料率の適用はEXE-i グローバルサウス株式ファンドは2025年7月16日以降、その他のEXE-i シリーズファンドは2025年8月13日以降

「EXE-i シリーズ」の主要ファンドは、複数の上場投資信託(ETF)への投資を通じて、各投資対象市場へのアクセスを、『シンプル』&『低コスト』で提供することをコンセプトとして、2013年5月に設定されました。本シリーズは投資信託協会において「インデックスファンド」として分類されるファンドとは異なり、参考指標との完全連動を目的とするものではなく、より柔軟な運用方針を採る所謂「アクティブファンド」^{※1}として、多くの投資家や著名ブロガーの方々からも、その特性が広く認知され、高い評価を頂いております。

実際の運用においては、参考指標とのトラッキングエラーを厳密に管理する性格の商品ではないことから、適切なリスク管理体制を構築し、月次報告書を通じて乖離状況を明確に開示するなど、高い透明性の維持に主眼をしております。これは、単なる形式的な運用管理ではなく、再現性ある良好な運用成果を伴った、実質的な管理体制を担保するものであると考えております。

各ファンドの長期パフォーマンスは、同種同等のファンドと比較しても極めて良好であり、信託報酬も同種同等ファンドに比べて極めて低く設定されております。

具体的には「EXE-i 先進国株式ファンド」の信託報酬は、同種カテゴリ^{※2}のアクティブファンドとしては最安(87ファンド中)であり、パフォーマンスについてはアクティブファンドとして10年トータルリターンは第3位(83ファンド中)、米国モーニングスター社の同種カテゴリ^{※2}においての10年以上の運用実績を持つアクティブファンド6本の中で5年トータルリターンはトップ、1年、3年、10年においてもすべて平均を上回る運用実績となっております。

「EXE-i 新興国株式ファンド」の信託報酬は、同種カテゴリー^{※3}のアクティブファンドの中で最安(96 ファンド中)であり、パフォーマンスについてはアクティブファンドとして 10 年トータルリターンで第 9 位(62 ファンド中)、米国モーニングスター同種カテゴリー^{※3}で 10 年以上の運用実績を持つアクティブファンド 4 本の中で、1 年、3 年、5 年、10 年のトータルリターンすべてにおいてトップの運用実績となっています。

「EXE-i 全世界中小型株式ファンド」の信託報酬は、同種カテゴリー^{※4}のアクティブファンドの中で第 5 位の低さ(280 ファンド中)であり、2013 年以前に設定の全ファンドにおいては最安(72 ファンド中)となっており、パフォーマンス面では、米国モーニングスター同種カテゴリー^{※4}で 10 年以上の運用実績を持つ、アクティブファンド 4 本の中で、5 年、10 年のトータルリターンにおいて平均を上回っています。

「EXE-i 全世界 REIT ファンド」の信託報酬は、同種カテゴリー^{※5}の全ファンドにおいて最安であり、パフォーマンスにおいては 1 年トータルリターンで第 5 位(38 ファンド中)、米国モーニングスター同種カテゴリー^{※5}の 10 年以上の運用実績を持つアクティブファンド 9 本の中でも、1 年、3 年、10 年のトータルリターンは平均を上回っています。

「EXE-i グローバルサウス株式ファンド」の信託報酬は、同種カテゴリー^{※3}のアクティブファンド 96 本の中で、最安の「EXE-i 新興国株式ファンド」に次いで二番目に安く設定されています。

これらの良好な運用パフォーマンスは、単なる偶然ではなく、低コストと運用プロセスの高度な質がもたらした成果であると当社は考えております。

つまり、投資家の皆さまにとって重要なのは、形式的なファンド分類ではなく、「低コストで高パフォーマンス」という実質的な運用成果であると考えられ、その点において本シリーズは、商品設計・投資家利益という観点すべてにおいて高く評価されているものと自負しております。

今回、改めて全ファンドの信託報酬を引き下げること、SBI グループが一貫して掲げる「顧客中心主義」の姿勢に基づくものです。市場環境が変化し続ける中においても、常に投資家本位で商品性改善を図り、持続的な資産形成を支援することが我々の使命であると考えております。

今後も、商品のコスト・パフォーマンスのみならず、リスク管理、モニタリング、運用プロセスなどの運用体制全般にわたって高度化を図り、「実質の伴った運用管理」こそが真に信頼されるファンド運営であるという考えのもと、投資家の皆さまの信頼に応えてまいります。

以上

※1 一般社団法人投資信託協会の分類による「インデックスファンド」に分類されないファンドの総称として使用

※2 ウェルスアドバイザー株式会社による「国際株式・グローバル・除く日本(F)」(ETF、DC・SMA 専用ファンドを除く)、および米国モーニングスターカテゴリー「Japan Fund World ex-Japan Equity」「Large Growth」として、ウェルスアドバイザー株式会社調べ(2025年4月30日現在)、以下同じ

※3 「国際株式・エマージング・除く日本(F)」、「Japan Fund Global Emerging Markets Equity」「Large Blend」

※4 「国際株式・グローバル・含む日本(F)」、「Japan Fund World Equity」「Global Equity Mid/Small Cap」

※5 「国際 REIT・グローバル・含む日本(F)」、「Japan Fund World REIT」「Mid Blend」 毎月/半月決算型除く